



ヴィレム・シュルツ Willem Schulz

1950 年生まれ。ドイツのハンブルク出身。

1967 年、デトモルト音楽大学に進学し、1960～70 年代の前衛芸術活動（フルクサス）や自由形式での即興演奏に多大な影響を受け、以後、数々の革新的なアンサンブルの共同設立や先進的文化プロジェクトの立ち上げに携わる。

1976 年、ドイツのメレに現在の活動拠点でもあるワイルドローズ文化センターを設立。

既存の芸術、会場、社会に音楽を介入させ相互作用を図るパフォーマンス・アートを追究し、自然や都市建築物のなかで空間を「生きた楽譜」へ変容させる作風で数多くの作品を手掛けた。これまでヨーロッパ、南アメリカ、中国などでサイト・スペシフィックな公演を行っているほか、ビーレフェルトにて現代音楽祭「ディアゴナーレ」の芸術監督を務めている。

今回、自身にとって初の来日公演となる。